



# 悠々楽習

## 第45号

2020年11月1日 発行  
NPO法人八王子生涯学習  
コーディネーター会 会報  
発行責任者:大倉 弘美  
八王子市兵衛1-9-9  
TEL 080-6631-3034

<https://cokai8.wixsite.com/website>

### 「令和2年度の抱負」

理事長 大倉 弘美



令和2年6月6日に行われた理事会において、NPO法人八王子生涯学習コーディネーター会の理事長に選任されました。2期目とは言え、未熟者であることに変わりはありませんが、精いっぱい務める所存です。

さて、今年度は新型コロナウイルス感染拡大により、多方面に影響が出ています。当会においても、力を注ぎ取り組んできた「生涯学習コーディネーター養成講座」「生涯学習フェスティバル」「出張体験講座」が中止となったことにより、事業計画の見直しを余儀なくされました。

今年度、実質的には残り半年ですが、前述の各事業については来年度に向けた準備を行っていくほか、実践的な講座企画運営マニュアルの作成やオンラインツールを使うスキルの習得など、会員のコーディネーターとしてのスキルアップを目指した活動を展開していきます。

「これからしばらくの間、私たちは「新しい生活様式」で活動することが求められます。生涯学習においても新たな形態が求められるようになるでしょう。どのような方法で「学びたい」「学び続けたい」と思う方々を支援できるのか、生涯学習の新たな形態を探りながら、これからの活動に当たっていききたいと考えています。



### 「定時総会」

副理事長 戸村 恵美子

令和2年6月6日(土) 16時、今年度定時総会が開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、オンライン会議システムを導入しました。正会員数24名中、オンライン会議出席者11名、書面表決者5名、委任状出席者6名の計22名が出席し、総会は有効に成立しました。議題審議では第1号議案から第7号議案まで、全員異議なくこれを承認、可決されました。

#### 新役員紹介

理事長：大倉弘美

副理事長：有田進治・戸村恵美子

理事：石渡ひかる・小林万里子・中川和郎

長瀬葉子・松本作造・森本裕子

山中 馨

監事：田中節子

藤村勝典

顧問：有馬廣貴

Zoom を利用した定時総会のパソコン画面。リハーサルを行うなど、新しい開催方法に挑戦しました。



### 「これからの八王子市の生涯学習施策」

八王子市教育委員会生涯学習スポーツ部  
生涯学習政策課副課長 安達 和之



令和2年1月に、国内で初めて感染が確認された新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、国が4月7日に東京都をはじめとする六都府県に緊急事態宣言を発出し、その後対象地域が全国に拡大される状況にまで至りました。6月下旬以降全国的な感染拡大は減少に転じたものの、三密回避などの感染拡大防止策は継続され、社会全体で感染拡大に対する警戒態勢が続いています。

「コロナ禍」にあつて、命と健康を守る活動や社会経済活動の回復については注目されていますが、生涯学習活動はどのようなのでしょうか。この点まずは、生涯学習が人生を豊かにし、生活に潤いを与えるものであり、必ずしも「不要」なものではないことを再確認する必要があると思います。

そして、このことを前提に、生涯学習活動のある方も、「新たな生活様式」へ対応した活動へと再構築し、オンラインでの実施など新たな活動様式を見出し、今後の活動につなげられたらと思います。

誌面を私事でお借りし恐縮ですが、10月15日をもって生涯学習政策課長を離任いたしました。在任中、皆さまのご理解・ご協力に感謝申し上げます。このような状況下での離任は心苦しいのですが、新たに「獣害対策」をテーマに加え、「学び」を続けておられます。

# 特集「令和2年度の活動」

本年度は新型コロナウイルス感染症防止策の徹底を図るため、行政との協働事業は、殆ど中止となりました。そのため、本年度の私たちの活動は、総会において自主事業に重点化することが決定されました。

特集として、各グループリーダーに活動方針を表明していただきました。

## 広報G ホームページ担当

リーダー 大倉 弘美

当会のホームページ(以下HP)は昨年後半からリニューアル作業が行われました。しばらくの間、旧HPと新HPを並行して閲覧できる状態になっていましたが、今年7月からリニューアル版に一本化しました。

HP編集は難しいと思われています。しかし、リニューアル担当だった皆さんが簡単に編集できるツールを見つけて作成してくれたので、苦手意識があった私も編集ができるようになりました。今後、編集メンバーを増やして魅力的なHP作りに挑戦していきたいものです。



## 広報G 会報担当

リーダー 有田 進治

今年度、会報を担当するようになった。会報「悠々楽悠」は、従来は7月と11月の定期発行に加え、必要に応じて臨時号を発行してありました。本年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、定期発行については、7月は見合わせ、11月のみ発行することになりました。

臨時号については、今後の事業の進展に応じて、できるだけタイムリーに発行していく所存です。会報発行の目的でもある活動方針や活動内容の紹介に加え、会員の相互のコミュニケーション促進を図る記事も多く掲載していきたいと考えています。

## 自主事業 自主講座G

リーダー 古野 亮一郎

今年度の会員名簿を大々眺めてみた。昨年15周年を迎えたが、旧会員の退会も目立つ。さらに新しい加入がすくなくない。今年度は養成講座そのものも中止となった。この3年間に会員になった数は、全体の3分の1に達する。この現状を忠実に反映してこのように。

このように活性化してはいるのか。各自の現状認識を話し合うことが必要なのではないか。そもそも我々はお互いのことを知っていないのだらうか。

以前、ある会員の活動紹介を、市の広報が、何かで見ました。その時の印

象は新鮮でした。こんないろいろな活動をやっておられるのだ、なんと精神的なのだ。この時の事を思い出して、これから始めようと思ったのです。

各会員の現在の活動紹介を少し詳しく、同時に希望を述べて貰えば、基礎資料となるし、相互理解にも役立つ。この中から、自主講座として、取り上げ関わって行ければ、願っているのです。

各自の準備を促す。宜しくお願い致します。

## 自主事業 内部研修G

リーダー 山中 馨

今年から理事としての内部研修の担当になりました。よろしくお願いたします。

本会の活動充実の基礎は、会員一人ひとりのコーディネーターとしての成長の実感にあるのではないかと思います。その意味からこの内部研修は非常に重要な役割を担っていると考えています。

本年は、ウィズ・コロナの時であり昨年までと突然に趣を異にする事態になりましたが、市民活動支援センター主催の「NPOパーパーアップ講座」に昨年同様に参加することがなりました。昨年、私は支援センタースタッフとしてこの講座を担当しましたことから内部研修の一環としてこの講座の受講を強くお勧めするものです。

加えて、本会独自の研修も必要と考えておりましたが、コロナの関係でリ

モート会議を余儀なくされ、すでに独自研修としてZoomの講座をもちました。さらに会員の意見交換の場として、Zoomを活用するつもりです。このようになりモート技術の習得もコーディネーターとしてはこれから必須と考えます。

本年は、この他に様々なアイデアを皆様から頂戴し、独自研修の充実を図りたいと考えています。ご協力をお願いいたします。

## 自主事業

### 生涯学習実践ハンドブック改訂G

リーダー 大倉 弘美

生涯学習実践ハンドブックは平成26年に会員のスキルアップのために作成されたものです。講座の企画運営編」と「生涯学習相談窓口&講座選択ガイド編」で構成されており、今年度そのハンドブックを改訂する作業に着手します。講座の企画運営編の対象は会員のほか、講座を実施したいと考ええる団体・個人とし、後半部の生涯学習情報編の対象は一般市民として改訂します。この2種類の印刷物を作成するつもりになります。

まず、講座の企画運営編の改訂を進めます。会員が培ってきた講座企画運営のノウハウの集大成にしたいと考えています。生涯学習情報に關しては講座の実施状況など、大きく様変わりしている現状及び今後の状況を鑑みつつ、掲載すべき情報を検討し、資料としてまとめたい予定です。

## 「内部研修の活動紹介」

リーダー 山中 馨

本年の内部研修は、新型コロナウイルスの外庄を受けて研修テーマが決まり、リモート会議ツールZoomの使用法の研修から始まりました。総会出席の本体をZoomに移行したことにより、会員のZoomへのアカウント登録方法や接続方法については、5月から実質的なZoomの講座が始まったことになりました。これをZoom初級講座と名づけることとし、初級講座の内容としては、①会議参加の事前準備、アプリのダウンロード(PCおよびスマホ)、②参加の手順(ビデオおよびオーディオ)、③仮想背景の設定の仕方などです。

総会リハーサルをかね5月30日にはZoom接続テストを行いました。思いのほかスムーズに皆様に参加することができました。

総会後の新体制で行われた事業推進会議は、7月にクリエートホールで開催後は、Zoom参加が主となり8月、9月とリモート会議となっております。この間、会員全員のZoom参加を視野に入れ7月18日、19日、21日にZoom実習を行いました。

また、自分でZoom会議を主催したいという要望を受け中級講座を開催することになりました。中級講座の内容としては、①スケジュールの方法、②ミーティングの招待の方法、③プロフィールの編集方法、④リモート会議のメンバーなどです。

この講座は8月7日、8日、9日のZoom開催いたしました。今後は会員各位が主催者となってZoom会議を開催してノウハウを蓄積されることを期待いたします。

今後のZoom研修としては、必要であればブレイクアウトルームの活用方法などを予定しています。

これに加えて、意見交換の場としてグループウェアの一つであるSlackを使用することが8月の事業推進会議で確認されました。

9月にはほぼ会員全員のSlack登録が完了となり、今後活発な意見交換の場としてSlackの活用がはじまることから、Slackの講習も予定いたします。

内部研修はこれに留まるものではありませんので、コーディネーターの成長を促す研修テーマを提案ください。



Slack の画面

## 「私の主な地域活動紹介」

古野 亮一郎

八王子市中央図書館には、大人のための「調べ学習」という千人塾生の会があります。各自興味をもったことを調べて、発表する集まりです。全体会の外に、各分科会が組織されていて、月一回集まっています。「日本書紀読み合わせ」「近現代史研究会」「エッセイの会」「Google earthの会」の4つが活動しています。ここで調べたことを、その年のレポート集「いちよう街道」に発表したり、図書館ラベルに応募したりしています。「なんでも見てやろう」という野次馬根性がなとも思っています。

高尾英語ボランティア活動は、外国人に對して、英語で高尾山の文化と歴史を紹介する活動です。ハイキングと英語研修を兼ねています。運動と趣味の継続に役立っています。ゲストは、アジアを中心に、アフリカ、ヨーロッパ、アメリカなどです。八王子の国際交流に貢献していること、自負しています。両者とも詳しくはホームページをご覧ください。



<https://rakatengu.com/>

[jukusei.jimdofree.com/藤井の会/](http://jukusei.jimdofree.com/藤井の会/)

## 「自己紹介」

種澤 昌幸



はじめまして。今年度、加入させていただきました。大手電機メーカーに就職後、約30年間、人工衛星の熱設計、インフラレーション技術者として従事してきました。今でも自分の設計した人工衛星が宇宙で役に立っているのです。システムエンジニアとしてかわり、お客様や、関係部署の気持ちに寄り添った仕事を心掛けてまいりました。

一方で、人工衛星はなかなか人の目に触れるものではなく、他の人に仕事の内容を話してもわかってもらえない部分もあり、逆に話せない部分も多々ありました。やりがいは感じていたものの、もじかしい思いをするのもあったのです。

そんなとき、妻家で火災が発生したのです。私は妻と共に実家から離れたところに住んでいたものの、火事に遭った両親や兄を、しっかり支えなければと思いました。それだけでなく、人を支えられるのは人だと思える、人の助けとなるような仕事をしようと思ったのです。

色々模索する中で、人の幸せに貢献したいと思い結婚相談所を立ち上げました。また、八王子市の少子化問題や子育て問題、地域活性化のために結婚や人生の楽しみ方をテーマにした活動も出来ると思い、本会に参加させていただきました。

生涯学習に向けた趣味の活かし方についても力を入れていきたいと思っております。

# 特集「八王子市生涯学習プランについて」

八王子市では生涯学習施策の基本となる「八王子市生涯学習プラン」を5年ごとに策定し、時代の変化に応じた施策の推進を図っています。

今年3月には令和6年度までの新たな生涯学習プランが策定されました。私どもの活動の指針でもある生涯学習プランについて、政策立案を担われた生涯学習政策課に伺いました。

①「この5年間の活動成果と課題はどのようなことでしょうか。」

旧プランでは、基本理念として「市民・地域とともに高めよう」学びのまちづくりを掲げ、市民の生涯学習を推進する事業を幅広く展開してきました。旧プラン策定時に420あった事業総数は5年間で5033まで増加し、市民により多くの生涯学習の機会を提供することができました。一方で、生涯学習活動の成果を地域活動に活かしている市民の割合は一定数にとどまっていますことから、生涯学習の環境づくりや情報発信を拡充させていきます。

今回策定された  
生涯学習プラン  
表紙→

裏表紙



②策定の背景に、この5年間で新たに生じた課題や、社会情勢、国の政策動向など、状況の変化に対応するためとありますが、主なものは何だと思われませんか。

生涯学習を取り巻く状況の変化のなかで、医療体制の充実等による平均寿命の著しい伸長は、とりわけ大きな変化といえます。

人生100年時代といわれる中では、学校を卒業した社会人をはじめ、若者も高齢者も生涯にわたっていつでも学び始められ、活動や地域課題解決に活かせるよう学び直し（リカレント教育）の環境づくりの必要性が高まっています。

③今回、見直した計画内容の主な点はどのようなことでしょうか。

生涯学習を取り巻く状況の変化を踏まえ、「すべてのライフステージに応じた切れ目のない学び」、「学び」と「活動」が循環し、地域社会に還元する学び、「地域社会全体でつながり、広がる学び」という3つの視点をもってプランを策定しました。この3つの視点を基盤に「市民・地域と高めよう学びのまち八王子」の実現を推進します。

④生涯学習という観点から八王子市の特徴はどのようなことでしょうか。

学園都市である本市は身近に学習資源があり、市民や各種サークル・団体等による自主的な学習活動・スポーツ・活動・

ボランティア活動が盛んなまちという点です。一人ひとりの個人的な学びから発展し、学んだ成果を地域で活かし、ともに高め合い、新たな交流やつながりが生まれるという、市民との協働型の生涯学習が、着実に浸透しています。

⑤プランを市民に浸透させる方策はどのようなことだと思われませんか。

市民100年の基本理念を浸透させるには、市民・市民団体との協働による取組を進めていくことが必要です。生涯学習100年推進協議会や生涯学習100年推進委員会等の皆様には生涯学習100年推進協議会をはじめ、地域での活動のきっかけづくりにお力添えいただいておりますが、今後このような市民が生涯学習で得た成果を発揮できる事業の展開が必要です。

⑥プランを進めていくうえで、生涯学習コーディネーター会にはどのようなことを期待されますか。

令和元年度に初めて実施した「出張体験講座」では、生涯学習100年推進委員会の講師の方々が、子どもたちに多様な体験型講座を提供し、日ごろの活動で蓄積されたノウハウが地域社会に還元される循環が生まれました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防を踏まえ、「新しい生活様式」に則した活動が求められる中でも、学びを活動に活かし、地域社会に「学びと活動の循環」を促す事業に、積極的に取り組んでいただきたいと思っております。

## 編集後記

「八王子市生涯学習プラン」が今年3月に策定されました。この機会に、私たちも、より理解を深めることが肝要と考え、立案担当の生涯学習政策課にいろいろと深掘りの質問をさせていただきました。ご多用の中、快く対応いただきました関係者の方々に、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

### ★事業推進協議会の案内

- ・原則 毎月 第1土曜日  
午後2時から4時
- ・会場 クリエイトホール  
11階 第7学習室

### ★広報からのお知らせ

- ◎広報グループ会報担当  
有田進治・石渡ひかる  
大倉弘美・進藤 不  
榎澤昌幸・戸村恵美子  
森本裕子・山中 馨

◎会報の発行は7月と11月  
および不定期増刊号の予定です。



当会のホームページをご覧ください。